

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科			32 単位	106 単位	138 単位	13 単位	
(備考) 「学部等共通科目」欄は、本学の「教養科目」の状況を記載。 「専門科目」欄は、本学の「専門関連科目」の状況を記載。 実務経験のある教員等による授業科目の単位数(138単位)の内訳は、選択科目(14単位)、必修科目(124単位)。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/ryoiki/curriculum/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当無し

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学公式ウェブサイトへの掲載

<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages18788/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公立大学学長	2年(R7.4.1 ～R9.3.31)	地域連携・運営
非常勤	私立大学教授	2年(R7.4.1 ～R9.3.31)	大学教育全般
非常勤	株式会社役員	2年(R7.4.1 ～R9.3.31)	経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (1) 授業計画書(シラバス)作成過程 ①成績評価を行う各授業科目の責任者(以下「科目責任者」という。)が授業の到達目標を達成するために、以下の内容を定めて授業計画書(シラバス)を作成する。 ・授業の内容や計画 ・使用するテキスト ・参考文献 ・他の授業科目との関連 ・成績評価方法 ・学習相談・助言体制 ・学習指導法の工夫 ・特記事項 ②各科目責任者が作成した授業計画書(シラバス)を教務委員会に諮った上で全授業科目の授業計画書(シラバス)を決定する。 (2) 授業計画書(シラバス)の公表時期・方法 大学の公式ホームページ上において年度開始までに公開	
授業計画書の公表方法	大学公式ウェブサイトへの掲載 https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (1) 取組の概要 授業科目の履修方法や成績について、教務委員会において「履修規程」、「履修要領」、「成績評価ガイドライン」を定めている。 その上で、授業計画(シラバス)に記載されている「成績評価の方法」により評価を実施。 (2) 成績評価の基準 次項の(1)指標の算出方法に記載	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。

- 1 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を有している。
- 2 良識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。
- 3 看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。
- 4 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種等との連携・協働の中で専門職者としての看護の役割を遂行できる能力を有している。
- 5 グローカルな視点を持ち、人間の置かれた地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根差した保健看護活動ができる能力を有している。
- 6 社会の変化に対応できる看護職者として課題探求能力を有している。
- 7 研究的態度を身につけ、保健看護活動を通して看護の発展に寄与する能力を有している。

本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学公式ウェブサイトへの掲載

[https://www.okinawa-
nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/policy/](https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/policy/)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	公立大学法人沖縄県立看護大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages18788/
収支計算書又は損益計算書	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages18788/
財産目録	－
事業報告書	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages18788/
監事による監査報告（書）	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages18788/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：公立大学法人沖縄県立看護大学中期計画に基づく年度計画 対象年度：令和4年度～令和8年度）
公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/pages15307/
中長期計画（名称：公立大学法人沖縄県立看護大学中期計画 対象年度：令和4年度～令和9年度）
公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/%E7%AC%AC1%E6%9C%9F%E4%B8%AD%E6%9C%9F%E8%A8%88%E7%94%BB%E5%92%8C4%E5%B9%B4%E5%BA%A6%EF%BD%9E%E4%BB%A4%E5%92%8C9%E5%B9%B4%E5%BA%A6%EF%BC%89-1.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/zengakujikotenken/
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載
https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/corporate-information-list/zengakujikotenken/list/zengakujikotenken/certification_evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部 看護学科
教育研究上の目的 (公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/rinen/) (概要) ○大学の使命 本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル化が進む社会における人々の健康上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応える看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および継続教育の中核的機関として看護実践および学術の発展に寄与することです。 ○大学の目的 生命の尊厳を重んずる豊かな人間性を育成するとともに、看護に関する高度な専門的知識や技術を習得させることにより、保健医療福祉の分野において看護を科学的に実践し、人々の健康と福祉の向上に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。 ○教育理念 本学の教育理念は、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、変化の進む社会において、幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、それにより人々の健康と福祉に貢献することです。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/policy/) (概要) 教育理念を実現するために、所定の教育課程を修め、必要単位数を取得することを通して、下記の能力・資質を身につけ、それらを社会生活において総合的に活用できる人材を養成します。 1 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。 2 良識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。 3 看護の専門職に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。 4 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種等との連携・協働の中で専門職者としての看護の役割を遂行できる能力を有している。 5 グローバルな視点を持ち、人間のおかれた地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力を有している。 6 社会の変化に対応できる看護職者としての課題探求能力を有している。 7 研究的態度を身につけ、保健看護活動を通して看護の発展に寄与する能力を有している。 本学を卒業するために必要な修得単位は 130 単位以上となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議し卒業を認定している。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載)

<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/policy/>

(概要)

本学の教育目標と学位授与方針を達成するために、下記の方針に基づき、カリキュラムを体系的に編成し実施します。

- 1 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を育むために、生活者の視点で健康現象をとらえる保健看護の概念に基づき看護教育課程を編成する。
- 2 良識ある社会人としてふさわしい知性と態度を磨くために、多様で豊かな教養科目を設定する。
- 3 看護の場を地域全体として捉え、多様な場や対象、健康レベルに応じた看護実践力を身につけるために、看護の専門科目を設けて適切に配置する。
- 4 科学的な根拠に基づく判断力と問題解決能力を身につけるために、看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を基礎から応用へと順序性を考慮した科目を配置する。
- 5 保健・医療・福祉の概念を共有した活動の中で看護の役割を遂行する能力を身につけるために、関連職種等と連携・協働しながら看護の役割を学修する科目を配置する。
- 6 グローカルな視点を持ち、地理的文化的特性および多様性を理解し、地域に根ざした看護実践能力を身につけるために、沖縄県の島嶼性や太平洋に開かれた地域性を活かした科目を配置する。
- 7 社会の変化に対応できる看護職者としての課題探求能力を身につけるために、学生の主体的な関心を基に、幅広い課題を取り上げて、課題解決に取り組む科目を初年次から配置する。
- 8 研究的態度や看護の発展に寄与する能力を身につけるために、最終年次では、看護実践の中から見出した課題に対して、看護を探求し統合できる科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載)

<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/pages13998/policy/>

(概要)

本学では、教育理念を実現するため、下記的能力・資質・意欲をもつ学生を求めます。

- 1 生命を大切にする倫理観を備えている。
- 2 人々の健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという思いを持っている。
- 3 大学での学修を継続できる基礎的学力を有し、論理的に考えることができる。
- 4 自律的な行動と主体的な学びを重視して、自己研鑽に努める習慣がある。
- 5 人間の多様な在り方を尊重でき、沖縄やその他の地域の地理的文化的特性とこれらの地域での活動に関心を持っている。
- 6 他者への関心と理解する姿勢を持っている。
- 7 目的に向かって自身の役割を主体的に果たせ、他者と共同して活動できる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載
<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/information-disclosure-list/information-disclosure/kyouikukatudou/soshiki/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
看護学部	－	13人	12人	6人	11人	3人	48人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		52人					52人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/kyouin/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部 看護学科	80人	80人	100%	320人	321人	100.3%	0人	0人
合計	80人	80人	100%	320人	321人	100.3%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	80人 (100%)	10人 (13%)	69人 (86%)	1人 (1%)
別科助産専攻	20人 (100%)	0人 (%)	20人 (100%)	人 (%)
合計	100人 (100%)	10人 (10%)	89人 (89%)	1人 (1%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 別科助産専攻(10名)、琉球大学病院、沖縄県立中部病院、宮古病院、南部医療センター等
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項) 【記載なしでOK】					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画書(シラバス)において、年間の授業計画や各科目の授業方法及び内容を記載している。 【シラバス掲載URL】 https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 本学を卒業するために必要な修得単位は、130単位以上となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	130単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: 大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/campus/tour/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科 (県内居住者)	535,800 円	282,000 円	円	
	看護学科 (その他の者)	535,800 円	512,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1 修学相談 担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。 2 模擬試験受験の支援 (3・4年次)
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1 就職情報の提供 図書館及び1階ロビーに「進路情報コーナー」を設置し、県内外の採用情報を掲示しています。 2 各学年担当教員による個別進路相談 3 3年次と4年次との情報交換会 国家試験終了後から卒業式までの間を予定しています。 4 ハローワークの就活出張相談 5 就職セミナー 3年次を対象に「小論文の書き方」「面接の受け方」等についてセミナーを開催しています。 6 下級生に引き継ぐための、「就職・進学に関する試験・面接の状況調査 (4年次対象)」の結果のファイリングと内部公開
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康相談の窓口として、保健室において健康管理、疾病予防を進めています。 また、外部のスクールカウンセラーを設置し、月2回カウンセリングを実施しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学公式ウェブサイトへの掲載 https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/research-activities/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F147210111761
学校名 (〇〇大学 等)	沖縄県立看護大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人沖縄県立看護大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		140人（ 106）人	142人（ 107）人	149人（ 115）人
内 訳	第Ⅰ区分	40人	35人	
	(うち多子世帯)	(20人)	(18人)	
	第Ⅱ区分	17人	25人	
	(うち多子世帯)	(7人)	(12人)	
	第Ⅲ区分	11人	6人	
	(うち多子世帯)	(7人)	(1人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	27人	26人	
	区分外（多子世帯）	45人	50人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				149人（ 115）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。